



# あさがお 栽培のポイント ②



## 置き場所

- あさがおの置き場所は朝日のあたる場所で、1日に6～7時間、日があたり、風通しの良い場所に置き、夜の照明があたらない場所に置きましょう。
- コンクリートの地面は避け、土の地面に置くようにしましょう。草むらからはできるだけ離すようにしてください。



植木鉢G型

## 発芽そして間引き

- 種まきをして、間もなくすると発芽～双葉の時期になります。元気のいいものを数本選んで残す、間引きの時期でもあります。但し、色々な花の色を楽しみたい場合はご注意ください。
- せいぶんしゃの種は赤花2粒、青花2粒、水色に白フチの花2粒を入れています。一般的には濃い色合いの花の方が茎もしっかりしていると言われています。従って、丈夫そうなものを残すと、どうしても色は偏ってしまいますのでご注意ください。抜いたものは、学級花壇などで引き続き育ててあげてください。



植木鉢G型

必ずではありませんが、茎(軸)の色が濃い赤や紫だと、紫や赤や紺など濃い系の花が咲く、逆に茎(軸)の色が黄緑や薄い赤だと、桃色や白など薄い系の花が咲く傾向にあると言われています。水色に白フチの花の茎の色は緑の傾向にあります。

- せいぶんしゃの植木鉢は容量が3.6Lあり、保水量もたっぷり有るため、極端に間引きをする必要はありませんが、間引くことにより、残った苗がより多くの養分や水を得る事ができますので、数本を残して大事に育ててあげるのもいいでしょう。

## 追肥について

### 「ほんばがでたらまくひりょう」

- 双葉から本葉が出て、やがてつるが伸び始めます。つるが伸び始めたら、この肥料をまきましょう。根元は避けて、周囲にまくようにしましょう。

(この肥料はゆっくり長く効くタイプの肥料です。)



植木鉢G型